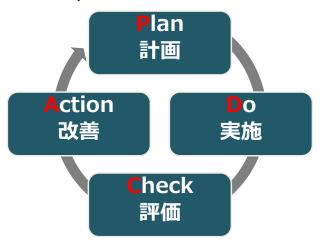
# 令和2年度(2020年度) 函館市地域包括支援センター 活動計画について

## 函館市保健福祉部 地域包括ケア推進課

### 活動評価および活動計画作成の目的

PDCAサイクルを繰り返すことにより、事業の改善を繰り返し、事業の質の向上を図る。



### 活動評価および活動計画の様式

令和元年度の事業目標を評価し, その評価に基づき,令和2年度の活動計画(事 業目標,計画,評価指標)を作成している。

事業内容	令和元年度活動評価		令和2年度活動計画		
	実績	評価	事業目標	計画	評価指標
		F価および 活動計画		_	

## 活動計画作成の流れ

- 1 センターが活動計画の第1稿を作成し、市へ提出
- 2 地域包括ケア推進課担当内で第1稿を確認し, センターへのヒアリング事項等を整理
- **3** 各センターヘ<mark>ヒアリング</mark>を実施
- 4 必要時センターが加筆および修正し、完成版を市へ提出

## 令和2年度 函館市地域包括支援センターの業務

### 包括的支援事業

- ア 地域包括支援センターの運営
  - (ア) 総合相談支援業務
  - (イ) 権利擁護業務
  - (ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
  - (エ) 地域ケア会議推進事業
- イ 生活支援体制整備事業
  - (ア) 第2層生活支援コーディネーター業務
- ウ 認知症総合支援事業

## 令和2年度 函館市地域包括支援センター運営方針

地域で生活する人々が高齢者を見守るとともに, 誰かが異変に気付いたら相談できる地域づくりを行う。

地域包括支援センターの周知と対応力の底上げ

地域で高齢者を支える関係機関との連携

これを踏まえ 各事業の計画を 考えています。

地域住民に対する認知症の正しい理解と 地域の見守りについての普及啓発

住民主体の助け合い活動への発展を目指した地域づくり

#### 日常生活圏域レベルの地域課題の検討 ・圏域の地域課題を明らかにするため、各センターで実施する。 検討の流れ STEP1 STEP2 STEP3 地域の問題の 地域の問題の共有 気づき・仮説の共有 スクリーニング STEP4 STEP5 問題から課題への 地域課題の これを踏まえ 優先順位 転換 各事業の計画を 考えています。 STEP6 地域課題への 対応方法

#### 西部圏域:あさひ 認知症の対応について住民が正しく理解していないため 地域の問題 適切な支援にならず, 最終的には施設入所という住民が 多い ・認知症の知識がある住民も知識の習得のみで終わる ・もの忘れ=当たり前,年相応と思う ・徐々に変化する状況に気づくことができない 問題が生じている 要因 ・どう支援すればよいかわからない ・専門職とつながると地域の住民は離れてしまう ・孤独死への悪い印象がある 地域住民が, 支援している高齢者の困り事が何かを知る 地域課題 ことで、認知症があっても在宅での生活を継続できる ・地域ケア会議を開催する ・出前講座や認知症サポーター養成講座、認知症カフェ 取組み を開催する ・ケアマネジャーと地域がつながる支援を行う など

# 中央部第2圏域:ときとう

#### ・担い手不足により地域活動が衰退している地域がある 地域の問題 ・地域住民同士の関係性の希薄化が連鎖し、地域の問題 を解決できない ・地域の福祉活動の取組みに関心が薄い(特に共働き 問題が生じている 世帯の増加による若い世代) 要因 ・ 少子高齢化により、担い手が不足している 福祉の担い手や社会資源等がお互いの役割を理解し、普 地域課題 段から連携体制がとれることで、地域ぐるみで住民支援 ができる ・地域福祉に関する担い手や、地域の社会資源構築を目 指した地域ケア会議を開催する 取組み ・地域住民と社会資源のマッチング支援のための懇談会 等を開催する

## 今後の課題

○運営方針や整理した地域課題に基づき,各事業を 実施する。

○センターの各種事業を一体的に展開し,地域を動かす。

○しっかり評価(地域課題の整理)を行い, 地域包括ケアシステムを深化・推進していくことを意識 的に行う。